

11.7 全日全共闘関西軍団決起集会に結集せよ!

佐藤は、すでに親田空港までヘリコプターで行くことを決定した。それは、警備に全く自信がなく、しかも日米交渉が二つをり隠れてしまふできない代物であることを示しているのだ。

ともども、佐藤の基本政策は、危機にひんした帝国主義支配体制の立て直しを計るべく、沖縄を軸に日米安保同盟の維持・強化にのりあつたのだ。それ故、日米共同声明も、沖縄の軍事的役割の再確認、朝鮮、台湾への自由出軍の確保、事前協議・条約適用範囲の廃止などアジアへの侵略宣言に他ならず、B52、毒ガス、原潜、基地などを解決するものではないのだ。

佐藤の沖縄政策は、全く国民に受け入れられていない。最近の世論調査は、約70%が「交渉は米側がペースと答えている。なによりも、沖縄県民は米軍の露手細基地突入と警備を先頭に、昨日からの全県網の目でも、13日の全県ゼネストで、佐藤の政策を拒否し、痛打を与えている。

本日も、13日、総評40万并竹香が決起せんとして、アメリカでもサンフランシスコ、ワシントンで佐藤阻止が叫ばれようとしている。だが、最も重要な点は、13日、17日、5日間の11日決起を空港占拠・首都制圧を闘いぬくことなのだ。全ての参反諸君。勝利する為には全日全共闘軍団に結集しよう!

11.7 関西軍団集会

<日時> 11月7日(金) 4c~

<場所> 大阪大学石橋堂舎
(阪急宝塚線石橋)

<基調報告> 全日全共闘軍団司令部

<結集全共闘>

- 京大、立命、龍谷、京大
- 関大、近大、新大、阪大
- 大工大、大外大、電通大
- 神大、姫工大、各全共闘

全日全共闘関西軍団